

# 夏休み笑顔咲く無料弁当

## 北区の子ども食堂 小中学生に配布



愛知教育大の学生室から弁当を受け取る子ども  
も 北区上飯田北町で

る「早く食べたい」とうれしそうに受け取っていた。

弁当を配る前に歯磨き教室やお菓子すくいなどもあり、飯田小一年の古谷碧惟君(モ)は「楽しかった。お弁当を食べるのも楽しみ」と笑顔。仕事が休みで一緒に訪れた母の麻衣さん(三)も「夏休み中はトワイライトスクールに通わせていて毎日弁当を用意しないといけないので、こういう活動はありがたい」と感謝した。

学生たちはじゃんけんやゲームで会場を盛り上げ。初めて参加した同大二年の小笠原優衣さん(七)は「前から子ども食堂の活動には興味があった。幅広い年代の子どもたちがいて、いい経験になった」と話した。

同プロジェクトで運営委員長を務める杉崎伊津子さん(七)は「新型コロナウイルス禍で子どもたちが楽しめる企画が減った。今後もどんどんやっていきたい」と意気込んだ。(森本尚平)

北区で子ども食堂三カ所を運営する「わいわい子ども食堂プロジェクト」は二十三日、同区上飯田北町のすまいるハートビルで、小中学生五十人に弁当を無料配布した。夏休みで給食のない子どもたちや家庭の負担を減らすため、二〇二一年から取り組んでいる。

弁当配布は夏休みや春休みなどの長期休みごとに一回実施。この日は、昨年からの活動に協力する愛知教育大の学生や食堂のスタッフが弁当を手渡した。子どもたちは「良い匂いがす